

2020 年度診療報酬改定に向けたアンケート調査結果

(1) 2018 年度改定における不合理及び矛盾点

- 目次 I ～IV 頁
- 内容 1～68 頁

(2) AI医療に関するアンケート調査 69～70 頁



一般社団法人

内科系学会社会保険連合

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

目的

7月に開催された「内保連外保連意見交換会」及び「三保連合同シンポジウム」にて、外保連は診療報酬改定結果が出た後、加盟学会宛に改定結果における不合理及び矛盾点を伺い、その集計結果を厚労省へ提出していることが判明した。

これを受け、内保連としては初の試みとなる「不合理及び矛盾点アンケート」を実施した。

依頼文

内保連では、2018 年度診療報酬改定を受けて、各学会から不合理や矛盾等を挙げて頂き、緊急要望としてまとめ、遅くとも次回の改定で対応していただくようと考えております。

つきましては、次回改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低い、などは除く）があればご連絡下さい。

集計結果

- 単に要望が採用されなかったものや診療報酬が低いといった回答や、改定結果の不合理や矛盾点を上げるアンケートで、未収載区分（医科点数表区分番号に該当がないもの）の回答もあった。
- 複数学会に所属している委員によっては、学会名は異なるが、内容が類似する回答もあった。

理事会としての対応

- アンケート結果は各学会で 2020 年度改定の参考にしていただく。
- その上で明らかに不合理や矛盾点のあるものを内保連（理事会）としていくつかピックアップし、厚労省へ提出する。

○医療区分番号が単独で記載されているもの

(区分番号順)

学会	項目	区分番号	名称	頁
日本臨床内科医会	不合理	A001-12	地域包括診療加算 2	1
日本糖尿病学会	不合理	A100	急性期一般病棟入院基本料、7対1入院基本料に係るもの、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度 I に係る評価票 A 項目	2
日本糖尿病学会	不合理	A100	DPC の機能評価係数 II の地域医療係数	3
日本循環器学会	矛盾点	A301	特定集中治療室管理料	4
日本小児腎臓病学会	不合理	B001-2	特定薬剤治療管理料	5
日本小児腎臓病学会	不合理	B001-5	小児科療養指導料	6
日本運動器科学会	不合理	B001-28	小児運動器疾患指導管理料	7
日本産婦人科医会	不合理	B001-29	乳腺炎重症予防ケア・指導料	8
日本臨床内科医会	不合理	C002	在宅時医学総合管理料	9
日本小児科医会	不合理	C012	大病院の病床数の定義の変更,在宅患者共同診療料	10
日本小児科学会	不合理	C013	大病院の病床数の定義の変更	11
日本小児科学会	不合理	C014	大病院の病床数の定義の変更,在宅患者共同診療料	12
日本呼吸器学会	不合理	C107-2	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2	13
日本呼吸器学会	不合理	C107-2 の 2・注 2	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2	14
日本心不全学会	不合理	C107-2 の 2・注 2	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2	15
日本心不全学会	不合理	C107-2 の 2・注 2	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2	16
日本病理学会	矛盾点	D003-2	迅速細胞診	17
日本遺伝カウンセリング学会	不合理	D006-4	区分番号 D 0 0 6 - 4 に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者 1 人につき月 1 回に限り、1,000 点を所定点数に加算する。	18
日本遺伝カウンセリング学会	不合理	D006-4	区分番号 D 0 0 6 - 4 に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者 1 人につき月 1 回に限り、1,000 点を所定点数に加算する。	19
日本遺伝子診療学会	不合理	D006-4	区分番号 D 0 0 6 - 4 に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者 1 人につき月 1 回に限り、1,000 点を所定点数に加算する。	20

学会	項目	区分番号	名称	頁
日本遺伝子診療学会	不合理	D006-4	区分番号D006-4に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者1人につき月1回に限り、1,000点を所定点数に加算する。	21
日本先天代謝異常学会	不合理	D010-8	先天性代謝異常検査（有機酸、脂肪酸、ムコ多糖分析など）	22
日本化学療法学会	不合理	D012-11	ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（1項目当たり）	23
日本ヘリコバクター学会	不合理	D019	細菌薬剤感受性検査	24
日本産婦人科医会	不合理	D023	8 HPV核酸検出、HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	25
日本心血管インターベンション治療学会	不合理	D206	カテーテル法による諸検査 2 ⑦冠攣縮誘発薬物負荷試験	26
日本超音波医学会	矛盾点	D215	超音波検査（記録に要する費用を含む。）	27
日本循環器学会	不合理	D215-3 イ,ハ	心臓超音波検査：経胸壁心エコー法，経食道心エコー法	28
日本心エコー図学会	不合理	D215-3 イ,ハ	心臓超音波検査：経胸壁心エコー法，経食道心エコー法	29
日本循環器学会	矛盾点	D215-3 ニ	胎児心エコー法	30
日本小児循環器学会	矛盾点	D215-3 ニ	胎児心エコー法	31
日本産婦人科医会	不合理	D218	微生物核酸同定・定量検査	32
日本臨床神経生理学会	矛盾点	D235-2	長期継続頭蓋内脳波検査（1日につき）	33
日本産婦人科医会	不合理	D285	認知機能検査その他の心理検査1 操作が容易なもの	34
日本小児腎臓病学会	不合理	D412	経皮的針生検	35
日本血液学会	不合理	D500	血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）に対するリツキシマブの適応拡大	36
日本血液学会	不合理	D500	後天性血友病に対するリツキシマブの適応拡大	37
日本神経学会	不合理	E101-2	ポジトロン断層撮影	38
日本皮膚科学会	不合理	J001-7	爪甲除去（麻酔を要しないもの）	39
日本小児神経学会	矛盾点	J018-3	干渉低周波去痰器による喀痰吸引	40
日本小児循環器学会	不合理	J024	酸素吸入（肺血流増加型先天性心疾患に対する低濃度酸素吸入）	41
日本小児腎臓病学会	不合理	J038	人工腎臓	42
日本透析医学会	矛盾点	J038	人工臓器	43
日本放射線腫瘍学会	不合理	M001-3	直線加速器を用いた定位放射線治療	44

学会	項目	区分番号	名称	頁
日本ハイパーサーミア学会	矛盾点	M003	電磁波温熱療法	45
日本移植学会	不合理	N001	電子顕微鏡病理組織標本作製(1臓器につき)	46
日本臨床細胞学会	不合理	N003-2	迅速細胞診	47
日本病理学会	不合理	N006	細胞診断料	48
日本病理学会	不合理	N006	病理診断料	49
日本臨床細胞学会	不合理	N006-2	細胞診断料	50

○医療区分番号が複数記載されているもの

(順不同)

学会	項目	区分番号	名称	頁
日本認知症学会	不合理	A247 B005-7-2 B005-7-3	認知症ケア加算 認知症療養指導料 認知症サポート指導料	51
日本遺伝子診療学会	矛盾点	D006-2 D006-4	造血器腫瘍遺伝子検査 遺伝学的検査 (BRACAnalysis 診断システムについて)	52
日本遺伝カウンセリング学会	矛盾点	D006-2 D006-4	造血器腫瘍遺伝子検査 遺伝学的検査 (BRACAnalysis 診断システムについて)	53
日本臨床検査医学会	矛盾点	D011-1 D011-4 K920 注 8,6	免疫血液学的検査	54
日本臨床検査専門医会	矛盾点	D011-1 D011-4 K920 注 8,6	免疫血液学的検査,血液型と不規則抗体	55
日本臨床細胞学会	不合理	N000-2 N002-8	病理組織標本作製、セルブロック法によるもの、ならびに、セルブロック法における免疫染色	56

○その他(区分番号未記載等)

(順不同)

学会	項目	区分番号	名称	頁
日本神経学会	不合理	DPC	デュオドーパ配合経腸用液治療システムのDPC対象病院における算定方法	57
日本心臓リハビリテーション学会	不合理		・在宅療法指導管理料 ・多職種による心疾患再発入院・再発予防指導管理料 ・心大血管疾患リハビリテーション料に関わる内容に個別的教育指導を含める	58
日本病態栄養学会	不合理		入院時食事療養費・入院時生活療養費	59
日本小児神経学会	不合理		オンライン診療	60
日本血液学会	不合理		JAK2 遺伝子変異解析	61
日本血液学会	不合理		化学療法、および生物活性製剤で治療するリンパ腫患者の治療前のB型肝炎感染スクリーニング一括検査	62
日本血液学会	不合理		B型肝炎既感染者の化学療法中および治療後のHBV核酸定量の定期的モニタリング	63
日本呼吸器学会	矛盾点		既収載ハイフローセラピー	64
日本在宅医学会	不合理		小規模多機能施設にショートステイ中の患者へ訪問診療	65
日本心臓病学会	不合理		集中治療管理料	66
日本肥満学会	不合理		肥満症の生活習慣病管理指導料	67
日本リウマチ学会	不合理		HLA 検査	68

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床内科医会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 医科点数表区分番号
A001-12

○ 名称
地域包括診療加算 2

○ 理由
特段の理由もなく 20 点から 18 点に評価が下がった

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本糖尿病学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

A100

○ 名称

急性期一般病棟入院基本料、7 対 1 入院基本料に係るもの、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度 I に係る評価票 A 項目

○ 理由

A 項目はモニタリング及び処置に関するもので、No.1～6 は処置やモニタリング管理、輸血・血液製剤などの項目、No.7 は専門的な治療・処置に関する項目です。急性期疾患で入院治療が必要な症例は基底に糖尿病を合併する例が多く、入院中の血糖管理は治療上重要です。頻回の血糖モニタリング、それに基づくインスリンによる血糖管理は現行の No.1～6 と No.7 の①～⑪の各項目と同程度の看護師、医師による専門的な治療・処置を必要としますが、A 項目に含まれていません。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

上記 1 項目目を踏まえて、医療・看護必要度 I に係る評価票 A 項目に頻回の血糖モニタリング、それに基づくインスリンなどの薬物治療による血糖管理を加える。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本糖尿病学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

- 医科点数表区分番号
A100

- 名称
DPC の機能評価係数Ⅱの地域医療係数

- 理由
地域医療係数は 5 疾患・5 事業を念頭においた係数です。
5 疾患には糖尿病が含まれているにも関わらず、糖尿病は地域医療係数に含まれていません。

- 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見
上記項目を踏まえて、機能評価係数Ⅱの地域医療係数における領域に糖尿病を加え、概要として、「糖尿病の専門的診療の体制や実績を評価」を記載する。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本循環器学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

A301

○ 名称

特定集中治療室管理料

○ 理由

特定集中治療室管理料を算定できる用件は下記のように決められています。ウの項目だと心不全を合併した心筋梗塞は適応ですが、心不全を合併していない心筋梗塞は適応外となります。しかしながら、STEMI の急性期は心不全がなくとも、突然心室性不整脈を合併し死亡するリスクが高く、歴史的にも集中治療室で管理する疾患と思えます。実際心不全のない STEMI が集中治療加算を査定されている実例も会員から報告されています。これは、矛盾と考えます。

ア 意識障害又は昏睡 イ 急性呼吸不全又は慢性呼吸不全の急性増悪
ウ 急性心不全（心筋梗塞を含む。） エ 急性薬物中毒 オ ショック
カ 重篤な代謝障害（肝不全、腎不全、重症糖尿病等） キ 広範囲熱傷
ク 大手術後 ケ 救急蘇生後 コ その他外傷、破傷風等で重篤な状態

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

集中治療加算の要件の一つに、*急性心筋梗塞 を加えていただきたいと存じます。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児腎臓病学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 医科点数表区分番号
B001-2

○ 名称
特定薬剤治療管理料

○ 理由
ミゾリビン：血中濃度管理を小児では行っている

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見
同じ検査・治療でも、小児における手間の算定
（家族とともに子どもへの説明，プレパレーション，検査・治療時の多くの人手が必要にもかかわらず，使用薬剤などは少なく，場合によっては体重に併せて破棄した分を請求できない（薬剤料の持ち出し）

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児腎臓病学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 医科点数表区分番号
B001-5

○ 名称
小児科療養指導料

○ 理由
夜尿症が対象外である：日常生活指導も含め，指導に時間かかる

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見
同じ検査・治療でも，小児における手間の算定
（家族とともに子どもへの説明，プレパレーション，検査・治療時の多くの人手が必要にもかかわらず，使用薬剤などは少なく，場合によっては体重に併せて破棄した分を請求できない（薬剤料の持ち出し）

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本運動器科学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 医科点数表区分番号
B001-28

○ 名称
小児運動器疾患指導管理料

○ 理由
紹介患者で 6 歳未満という年齢制限があり、学童期に発症する疾病に対する適応がない。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見
小児運動器疾患指導管理料の年齢拡大を要求する予定です。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本産婦人科医会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ **2018 年度診療報酬改定結果**

不合理

○ **医科点数表区分番号**

B001-29

○ **名称**

乳腺炎重症予防ケア・指導料

○ **理由**

乳腺炎及び母乳育児に関するケア・指導に係る経験を有する助産師と注には記載されているが、施設基準に、一般財団法人日本助産評価機構により「アドバンス助産師」の認証を受けた助産師とされ、さらに運用には、その者が医療機関におり、その者が直接行わなければ算定できないとされる。問題は、「アドバンス助産師」の講習の内容には、乳腺に関する内容は無く、一般的な管理方法のみの記載であるにとどめられていること。また、講習会の予定がない様な状況であること。乳房管理に関しては、大病院よりも一次医療機関を受診する者が多いことから、要件の緩和が必要と考える。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床内科医会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

C002

○ 名称

在宅時医学総合管理料

○ 理由

「処方箋を交付しない場合に 300 点を所定点数に加算する」とある。

院内処方の利点として、在宅医が直接残薬調整を行っている実態もあり、薬剤費を含めて 1 日あたり 10 点相当では持ち出しになっていると言える。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児科医会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- **2018 年度診療報酬改定結果**
不合理

- **医科点数表区分番号**
C012

- **名称**
大病院の病床数の定義の変更,在宅患者共同診療料

- **理由**
これまで500床以上であったものが400床以上に変更された。
これにより、在宅療養後方支援病院がより規模の小さい病院に限定されてしまう。

- **上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見**
とくに小児の在宅医療においては、病院の規模に関わらず在宅療養後方支援病院として機能してもらうことが重要である。今後の小児在宅医療の発展を目指すのであれば、病床数による制限は撤廃すべきである。

2018年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児科学会
-------	---------

2020年度改定に向けての課題や2018年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- **2018年度診療報酬改定結果**
不合理
- **医科点数表区分番号**
C013
- **名称**
大病院の病床数の定義の変更
- **理由**
これまで500床以上であったものが400床以上に変更された。
- **上記を踏まえ、2020年度の改定に向けて課題や、何かご意見**
とくに小児の在宅医療においては、病院の規模に関わらず在宅療養後方支援病院として機能してもらうことが重要である。今後の小児在宅医療の発展を目指すのであれば、病床数による制限は撤廃すべきである。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児科学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ **2018 年度診療報酬改定結果**

不合理

○ **医科点数表区分番号**

C014

○ **名称**

大病院の病床数の定義の変更,在宅患者共同診療料

○ **理由**

これまで対象が 500 床以上であったものが 400 床以上に変更された。

これにより、在宅療養後方支援病院として機能できる医療機関の数が限定されてしまう。

○ **上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見**

とくに小児の在宅医療においては、病院の規模に関わらず在宅療養後方支援病院として機能してもらうことが重要である。小児科の入院病棟はそれ単独で規定されることなく、多くは地域で中心的に急性期医療を担う病床数の大きな医療機関に付随して運営されていることから、小児在宅患者の病診連携に対して逆行することとなる。

今後小児在宅医療を地域に根ざした形で普及させていくことを目指すのであれば、病床数による規定は撤廃すべきである。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本呼吸器学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ **2018 年度診療報酬改定結果**
不合理

○ **医科点数表区分番号**
C107-2

○ **名称**
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2

○ **理由**
ASV を使用している場合でも指導管理料 2 を算定するが、遠隔モニタリング加算は CPAP を用いている患者についてと限定されている。同等の診療行為ということで同じ指導管理料の区分に入っているが、一方は遠隔モニタリング加算ができないという点で不合理と考える。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本呼吸器学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

C107-2 の 2・注 2

○ 名称

在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2

○ 理由

C-107-2 の 2・注 2 の施設基準について、施設基準「遠隔モニタリング加算の算定を行う患者について、緊急時に概ね 30 分以内に当該保険医療機関が対面による診察が可能な体制を有していること。」などは、機器の故障は業者が担当し、睡眠時無呼吸に付随する合併症以外は睡眠時無呼吸のみの疾病によって 30 分以内あるいは当日以内に受診する必要は医学上通常なく不合理と考えられる。また、その後の 2018 年 7 月の疑義解釈で、モニタリング資料を確認し、結果をカルテ記載し、一定の基準を満たしていても全ての患者に通信機器を用いて連絡すべきとの解釈も、本来はアドヒアランスに問題点のある患者のみに連絡すべきで、遠隔医療の厚労科研の結果、遠隔医療の本来の趣旨(遠隔モニタリング資料を利用した患者の利便性、医師の働き方改革)などからしてもやや矛盾している。従って、C107-2 の 2 の施設基準は撤廃すべきと考えます。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本心不全学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

C107-2 の 2・注 2

○ 名称

在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2

○ 理由

注 2 に遠隔モニタリングを用いて療養上必要な指導を行った場合とあるものの、あくまで遠隔モニタリング加算と記載されており、オンライン診療と異なる診療行為と考えられるが、施設基準などオンライン診療と同等の体制を求めており不合理と思われる。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

CPAP の遠隔モニタリングにおいては、オンライン診療に必要なシステムがすべて必要ではなく、点数のカテゴリーも異なるものであるため、施設基準などの条件をオンライン診療と同じものとして扱うことに合理性がないように思われ、今後の議論が必要と思われる。ASV に関しては、現行の機種では CPAP 同様に遠隔モニタリングが可能となっており、指導管理料と同じように CPAP と同様の遠隔加算が可能となることで混乱を避けるうえでも好ましいと考える。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本心不全学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

C107-2 の 2・注 2

○ 名称

在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料 2

○ 理由

ASV を使用している場合でも指導管理料 2 を算定するが、遠隔モニタリング加算は CPAP を用いている患者についてと限定されている。同等の診療行為ということで同じ指導管理料の区分に入っているが、一方は遠隔モニタリング加算ができないという点で不合理と考える。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本病理学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D003-2

○ 名称

迅速細胞診

○ 理由

迅速細胞診の「検査中の場合」にある、EBUS-TBNA ですが、これは、超音波気管支鏡を用いて気管や気管周囲の病変を穿刺し、病理診断を行うものです。EBUS-TBNA による検体で、迅速細胞診の対象が、今回の保険収載では「リンパ節のみ」となっておりますが、例えば気管支粘膜下の腫瘍などの場合は、気管支洗浄では細胞の採取ができないが、EBUS-TBNA で穿刺することで細胞診の検体が得られ、診断に結び付くという論文は多数あります。この要望は日本呼吸器内視鏡学会から提出された要望ですが、当初の要望にはリンパ節などの臓器に関しての言及はなく、なぜ、リンパ節のみになったのか疑問です。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本遺伝カウンセリング学会
-------	---------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D006-4

○ 名称

区分番号 D 0 0 6 - 4 に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者 1 人につき月 1 回に限り、1,000 点を所定点数に加算する。

○ 理由

遺伝カウンセリングは遺伝学的検査の実施に関わらず行われる業務であるため、遺伝学的検査が行われる際のみ点数が付くのは不合理である。遺伝学的検査はほとんどの場合、1 名につき生涯 1 回しか実施しないため、繰り返し遺伝カウンセリングを実施しても 1 回のみしか算定されない。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

遺伝カウンセリングは B 医学管理として算定されるべきである。1-A 算定要件の拡大（適応疾患拡大。算定された遺伝学的検査の遺伝カウンセリングに拘らない）、2-A 点数の見直し（初診 1,500 点，再診 1,000 点とする）、1-C 算定要件の拡大（遺伝学的検査前と後に遺伝カウンセリングを行うことが望ましいため、遺伝学的検査前後に関わらず、実施回数分算定する）、3 項目設定の見直し（発症前遺伝学的検査に関わる遺伝カウンセリングは既存項目よりも高い評価とする。）

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本遺伝カウンセリング学会
-------	---------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D006-4

○ 名称

区分番号 D 0 0 6 - 4 に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者 1 人につき月 1 回に限り、1,000 点を所定点数に加算する。

○ 理由

そもそも遺伝カウンセリングは検査（D 区分）の業務ではなく医学管理（B 区分）の業務と考えられるため、不合理である。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

遺伝カウンセリングは B 医学管理として算定されるべきである。1-A 算定要件の拡大（適応疾患拡大。算定された遺伝学的検査の遺伝カウンセリングに拘らない）、2-A 点数の見直し（初診 1,500 点，再診 1,000 点とする）、1-C 算定要件の拡大（遺伝学的検査前と後に遺伝カウンセリングを行うことが望ましいため、遺伝学的検査前後に関わらず、実施回数分算定する）、3 項目設定の見直し（発症前遺伝学的検査に関わる遺伝カウンセリングは既存項目よりも高い評価とする。）

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本遺伝子診療学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D006-4

○ 名称

区分番号 D 0 0 6 - 4 に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者 1 人につき月 1 回に限り、1,000 点を所定点数に加算する。

○ 理由

遺伝カウンセリングは、検査結果の伝達時のみに行われれば良いものではなく、たとえば、遺伝学的検査前には患者が主体的に当該検査を実施するかどうかを判断するために行われるべきである、など、検査の実施が前提となるものではない。そのため、遺伝学的検査が行われる際のみ点数が付くのは不合理である。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本遺伝子診療学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D006-4

○ 名称

区分番号 D 0 0 6 - 4 に掲げる遺伝学的検査を実施し、遺伝カウンセリング加算として、患者 1 人につき月 1 回に限り、1,000 点を所定点数に加算する。

○ 理由

そもそも遺伝カウンセリングは検査（D 区分）の付随的業務などではなく、時間もかかり医療者側にかかる精神的身体的負担も大きい独立した高度な専門医療行為であり、医学管理（B 区分）の業務とすべきものである。検査加算としたままでいるのは不合理である。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本先天代謝異常学会
-------	------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D010-8

○ 名称

先天性代謝異常検査（有機酸、脂肪酸、ムコ多糖分析など）

○ 理由

現在、検査機関が「保険医療機関」と定められている。この施設基準が適応できる検査施設はごく少なく、全国の必要な検査数に対応できていない。このため「学会が認定した施設」への施設基準拡大が、品質の担保も含めて最適である。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

D010-8 先天性代謝異常検査（有機酸、脂肪酸、ムコ多糖分析など）は、検査機器が薬事法の審査を通過していないため、検査の質に対しての十分な配慮が必要と考えられる。そのため、学会の認定ということにしたが、尿中有機酸分析では、すでに薬事法をクリアした機械が出てきている。2 年後の改訂に向けては、有機酸、脂肪酸、ムコ多糖分析をそれぞれ別々に要望することも考えている。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本化学療法学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D012-11

○ 名称

ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（1 項目当たり）

○ 理由

当該検査の算定要件に「同一ウイルスに対する複数の測定方法を行った場合であっても、所定点数のみを算定する」とあるが、IgG や IgA など複数の抗体価の経過をもって診断を行う事が一般的である。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

我が国において麻疹や風疹などのウイルス感染症は特に海外の流行株の流入によってアウトブレイクが発生することがあります。医療現場では診察所見のみでこれらウイルス感染症が診断可能な場合もありますが、非典型的な経過を示す例も少なくなく、血清抗体価による確認は治療上必要です。ウイルス感染症の診断に必要な検査は、抗原の確認よりも抗体によってのみ確認可能な場合も多く、小児科や内科の教科書では比較的早期に反応する血清 IgA 抗体価、IgA よりも遅れて反応するがこれが長期に持続する血清 IgG 抗体価の組み合わせを経過を追って確認することが必要と書かれています。このように、治療に必要な検査を保険医療で算定できないのは不合理と言わざるを得ません。2020 年には東京オリンピックが開催され、諸外国から多くの人々が日本にいらっしゃいますが、ここで先に示したウイルス感染症に関する十分な検査を保険診療上のルールでご承認いただきたく存じます。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本ヘリコバクター学会
-------	-------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ **2018 年度診療報酬改定結果**

不合理

○ **医科点数表区分番号**

D019

○ **名称**

細菌薬剤感受性検査

○ **理由**

細菌感染症の治療の原則である薬剤感受性検査は、ヘリコバクター・ピロリ菌に対して行うことに対して都道府県で査定状況が異なり、抗菌薬感受性検査に基づく治療ができないこと。ピロリ菌に対しても正式に認めていただきたい。

○ **上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見**

感染症関連委員会で討議された内容をより内保連からの厚労書への意見に反映していただきたい。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本産婦人科医会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D023

○ 名称

8 HPV 核酸検出、HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）

○ 理由

ア「8」の HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上 ASC-US（意義不明異形扁平上皮）と判断された患者又は過去に子宮頸部円錐切除を行った患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に行った場合は算定できない。とされているが、治験上は、術後同時の検査で評価されている。したがって、「8」の HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上 ASC-US（意義不明異形扁平上皮）と判断された患者は、細胞診と同時に行った場合には算定できない。なお、過去に子宮頸部円錐切除を行った患者に対して行った場合には、細胞診と同時に算定できる。と変更されることのが良い。

○ 2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本心血管インターベンション治療学会
-------	--------------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D206

○ 名称

カテーテル法による諸検査 2 ⑦冠攣縮誘発薬物負荷試験

○ 理由

- 1) アセチルコリンは認可されたが、エルゴノピンは認可されなかった。
- 2) ペーシングカテーテルのコストがコードアップされず持ち出しになる。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本超音波医学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D215

○ 名称

超音波検査（記録に要する費用を含む）

○ 理由

3 心臓超音波検査 注1 3（心臓超音波検査）について、造影剤を使用した場合は、造影剤使用加算として、180 点を所定点数に加算する。とあるが、現在唯一の超音波造影剤であるソナゾイドの適効能効果は肝腫瘍性病変、乳房腫瘍性病変のみであり、心臓超音波検査に対して使用できる超音波造影剤がない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本循環器学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ **2018 年度診療報酬改定結果**

不合理

○ **医科点数表区分番号**

D215-3 イ,ハ

○ **名称**

心臓超音波検査：経胸壁心エコー法，経食道心エコー法

○ **理由**

経胸壁心エコー法および経食道心エコー法において、3次元画像解析が行われるようになった。通常の心エコー検査後に、30分に及ぶ時間をかけて、3次元画像の構築と解析が行われる。この画像解析には、通常の心エコー診断装置と比べて、より高価な診断装置や追加の解析ソフトが必要である。しかし、心エコー法における3次元画像解析には診療報酬が決められていない。

○ **上記を踏まえ、2020年度の改定に向けて課題や、何かご意見**

心臓超音波検査において、心臓の構造や機能の異常を診断する上で3次元画像解析の重要性が増している。特に、弁膜症や先天性心疾患の診断、これらの外科的治療およびカテーテル治療の実施において、心エコー法の3次元画像解析は不可欠なものとなった。心エコー法では、経胸壁心エコー法、経食道心エコー法のいずれにおいても、3次元画像解析にはより高額な診断装置や追加の解析ソフトと、医師および臨床検査技師等によるより長い解析・診断時間が必要となる。このため、心エコー法の3次元画像解析を保険収載することを求める。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本心エコー図学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D215-3 イ,ハ

○ 名称

心臓超音波検査：経胸壁心エコー法，経食道心エコー法

○ 理由

経胸壁心エコー法および経食道心エコー法において、3次元画像解析が行われるようになった。通常の心エコー検査後に、30分に及ぶ時間をかけて、3次元画像の構築と解析が行われる。この画像解析には、通常的心エコー診断装置と比べて、より高価な診断装置や追加の解析ソフトに加え、心エコー図学および解剖学の高度な知識が必要である。しかし、心エコー法における3次元画像解析には診療報酬が決められていない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本循環器学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D215-3 ニ

○ 名称

胎児心エコー法

○ 理由

胎児心エコー法は専門性の高い検査で経験のあり医師が行っています。しかし、検査料が 300 点と他の超音波検査（心臓超音波検査 880 点、胸腹部 530 点）と比べて差があることが不合理です。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

胎児心エコー法は重篤な胎児心臓病を診断し、出生後に予定される最適な治療方法を準備し、その全てを妊婦とそのパートナーに説明する検査です。その専門性は高く、胎児心エコー認証医という専門資格を取得した医師が行っています。胎児心エコー認証医は日本胎児心臓病学会が行う専門講習を受けることが義務付けられています。現在、全国で約 130 名胎児心エコー認証医が診療に関与しており、胎児心エコーは実施報告も義務づけられています。このように厳格に管理された検査であり、検査内容も診断、予測、計画、説明、カウンセリングと多岐にわたります。しかし、胎児心エコー法の検査料は 300 点となっております。技術を要し機器の設定も胎児用の設定を必要とする検査にも関わらず通常の心臓超音波検査法(880 点) や胸腹部超音波検査法(530 点)、頭頸部、体表、血管など(350 点) より検査料が低い評価となっていることに大きな矛盾がある。また、初回検査で認められるカウンセリング料も実際の検査では毎回カウンセリングが行われているにもかかわらず 2 回目以降は認められていないことも現場と乖離しております。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児循環器学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D215-3 ニ

○ 名称

胎児心エコー法

○ 理由

胎児心エコー法は専門性の高い検査で経験のあり医師が行っています。しかし、検査料が 300 点と他の超音波検査（心臓超音波検査 880 点、胸腹部 530 点）と比べて差があることが不合理です。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

胎児心エコー法は重篤な胎児心臓病を診断し、出生後に予定される最適な治療方法を準備し、その全てを妊婦とそのパートナーに説明する検査です。その専門性は高く、胎児心エコー認証医という専門資格を取得した医師が行っています。胎児心エコー認証医は日本胎児心臓病学会が行う専門講習を受けることが義務付けられています。現在、全国で約 130 名胎児心エコー認証医が診療に関与しており、胎児心エコーは実施報告も義務づけられています。このように厳格に管理された検査であり、検査内容も診断、予測、計画、説明、カウンセリングと多岐にわたります。しかし、胎児心エコー法の検査料は 300 点となっております。技術を要し機器の設定も胎児用の設定を必要とする検査にも関わらず通常の心臓超音波検査法(880 点) や胸腹部超音波検査法(530 点)、頭頸部、体表、血管など(350 点) より検査料が低い評価となっていることに大きな矛盾がある。また、初回検査で認められるカウンセリング料も実際の検査では毎回カウンセリングが行われているにもかかわらず 2 回目以降は認められていないことも現場と乖離しております。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本産婦人科医会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 医科点数表区分番号
D218

○ 名称
微生物核酸同定・定量検査

○ 理由

分娩監視装置による諸検査は、「胎児仮死」、「潜在胎児仮死」及び異常分娩の経過改善の目的で陣痛促進を行う場合にのみ算定できるものであり、陣痛曲線、胎児心電図及び胎児心音図を記録した場合も、所定点数に含まれる。

「胎児仮死」、「潜在胎児仮死」は現在使用されていない文言になっており、「胎児機能不全」あるいは「胎児機能不全の疑い」の病名に変更されることを要望する（病名の統一）。なお分娩監視装置は、1 時間 30 分を超えた場合と一律になっているが、分娩経過中は装着されているものであり、脳波・心電図などと同様に判断料がないのは不合理である。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床神経生理学会
-------	------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D235-2

○ 名称

長期継続頭蓋内脳波検査（1日につき）

○ 理由

1日につき 500 点が付与されているが、D-235-3 長期脳波ビデオ同時記録検査（1日につき）は、番号 1（施設基準あり）で 3500 点、番号 2（施設基準なし）で 900 点である。頭蓋内の方が通常脳波よりも難易度が高いのに、点数が低いのは不合理である。

2018年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本産婦人科医会
-------	----------

2020年度改定に向けての課題や2018年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D285

○ 名称

認知機能検査その他の心理検査 1 操作が容易なもの

○ 理由

区分番号「D285」認知機能検査その他の心理検査の「1」とは、CAS不安測定検査、SDSうつ性自己評価尺度、CES-Dうつ病（抑うつ状態）自己評価尺度、HDRSハミルトンうつ病症状評価尺度、STAI状態・特性不安検査、POMS、IES-R、PDS、TK式診断的新親子関係検査、CMI健康調査票、GHQ精神健康評価票、MAS不安尺度、ブルドン抹消検査、MEDE多面的初期認知症判定検査、WHO QOL26、COGNISTAT、SIB、Coghealth（医師、看護師又は臨床心理技術者が検査に立ち会った場合に限る。）、NPI、BEHAVE-AD、音読検査（特異的読字障害を対象にしたものに限る。）、AQ日本語版、WURS、MCMII-II、MOCI邦訳版、日本語版LSAS-J（6月に1回に限る。）、DES-II、EAT-26、M-CHAT、STAI-C状態・特性不安検査（児童用）、DSRS-C、長谷川式知能評価スケール、MMSE、前頭葉評価バッテリー、ストループテスト及びMoCA-Jのことをいう。となっているが、日本人女性の更年期症状評価表（ガイドライン婦人科編2014）を加える

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児腎臓病学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

D412

○ 名称

経皮的針生検

○ 理由

年少児の生検に必須な鎮静などが勘案されていない

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

同じ検査・治療でも，小児における手間の算定

（家族とともに子どもへの説明，プレパレーション，検査・治療時の多くの人手が必要にもかかわらず，使用薬剤などは少なく，場合によっては体重に併せて破棄した分を請求できない（薬剤料の持ち出し）

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本血液学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- 2018 年度診療報酬改定結果
不合理
- 医科点数表区分番号
D500
- 名称
血栓性血小板減少性紫斑病（TTP)に対するリツキシマブの適応拡大
- 理由
2018 年診療報酬改定に際して日本血液学会より申請をあげたがその審議結果が未だに確認が取れていない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本血液学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- 2018 年度診療報酬改定結果
不合理
- 医科点数表区分番号
D500
- 名称
後天性血友病対するリツキシマブの適応拡大
- 理由
2018 年診療報酬改定に際して日本血液学会より申請をあげたがその審議結果が未だに確認が取れていない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本神経学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 医科点数表区分番号
E101-2

○ 名称
ポジトロン断層撮影

○ 理由
日本核医学会と日本認知症学会から共同で申請しているアミロイドイメージングでは、その合成する装置と薬剤は薬事承認を得ているのに、保険適応ができていない点は整合性がとれていないように思われる。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見
上記画像法は、若年者のアルツハイマー病の診断に欠かせない。上記の 3 学会で要望するので、できれば認めてほしい。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本皮膚科学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- 2018 年度診療報酬改定結果
不合理
- 医科点数表区分番号
J001-7
- 名称
爪甲除去（麻酔を要しないもの）
- 理由
外来診療料に含まれ、別に算定できないというのは不合理。200 床以上の病院でも算定できるようにすべきである。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児神経学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ **2018 年度診療報酬改定結果**

矛盾点

○ **医科点数表区分番号**

J018-3

○ **名称**

干渉低周波去痰器による喀痰吸引

○ **理由**

干渉低周波去痰器という製品を調べてみると、製品として販売されていない。実際にこの手技による保険請求があるのか？

むしろ、排痰補助装置による喀痰吸引など実際に汎用されている機器で有効性の高い手技を保険収載すべきである。

○ **上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見**

2018 年度の改定ではエビデンスに乏しいという理由で、中医協審議会ではねられてしまった案件です。2020 年度も複数学会からの共同提案にて、保険収載すべきと思います。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児循環器学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

J024

○ 名称

酸素吸入(肺血流増加型先天性心疾患に対する低濃度酸素吸入)

○ 理由

低濃度酸素吸入療法は肺血流増加型先天性心疾患に対する術前処置として必要な医療行為であり、2018 年度より酸素療法の一部として認定されました。「酸素療法」という名前がついていますが、実際には「医療用窒素」を人工空気（酸素と窒素の混合物）に付加し、低酸素濃度を作り出しており、通常酸素療法とはまったく異なる用法です。当然、集中治療室における厳重な全身管理、モニタリングが必須であり、これらの特異性を考えても一般的な「酸素吸入」のカテゴリーではなく、「窒素吸入療法」、あるいは「低酸素吸入療法」として別項目にすべき治療と考えます。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児腎臓病学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 医科点数表区分番号
J038

○ 名称
人工腎臓

○ 理由
低体重児の透析を安全に行うことの困難さとともに，鎮静や保育士をつけての安静を保ちながら透析するなどの手間が勘案されていない

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見
同じ検査・治療でも，小児における手間の算定（家族とともに子どもへの説明，プレパレーション，検査・治療時の多くの人手が必要にもかかわらず，使用薬剤などは少なく，場合によっては体重に併せて破棄した分を請求できない（薬剤料の持ち出し））。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本透析医学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

J038

○ 名称

人工臓器

○ 理由

日本透析医学会としては月当たりの透析回数制限を 14 回から 16 回の是正を提案したが認められなかった。しかし、一方で、血液透析の「6 時間以上の人工腎臓加算」1 回あたり 150 点が新設され、算定要件として透析医学会ガイドラインに従うこととされた。このガイドラインでは対象患者に対して透析時間の延長のみならず、透析回数の増加を推奨している。同じガイドラインを算定要件としながら解釈を変えている。このようにガイドラインを都合よく解釈することは問題と考える。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本放射線腫瘍学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

M001-3

○ 名称

直線加速器を用いた定位放射線治療

○ 理由

M001 体外照射を算定する場合には当該点数は算定できない、とされているが、脳転移に対して全脳照射（体外照射）と定位照射を併用するのは標準的である。また、同様の照射法であるガンマナイフによる定位放射線治療（M001-2）には同様の記載はない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本ハイパーサーミア学会
-------	--------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

M003

○ 名称

電磁波温熱療法

○ 理由

「一連」とは、治療の対象となる疾患に対して所期の目的を達するまでに行う一連の治療過程をいう。数か月間の一連の治療過程に複数回の電磁波温熱療法を行う場合は、1回のみ所定点数を算定し、その他数回の療法の費用は所定点数に含まれ、別に算定できない。

とありますが、長期治療や再発症例の場合何度施行しても点数が請求できず、矛盾を感じます。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

上記を踏まえて、温熱療法の「一連につき」を「1回につき」に変更をお願い出来ましたらと思っております。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本移植学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

N001

○ 名称

電子顕微鏡病理組織標本作製（1 臓器につき）

○ 理由

2000 点の費用では安すぎる。現在、電子顕微鏡は中小規模の病院で管理維持ができず、検査会社に依頼している。しかし、その費用は 2000 点分を超える。このため、検査を控える病院施設が多い。腎臓領域では電子顕微鏡診断は必須の場合が多く、適切な点数をつけていただきたい。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

- 1) 耐性菌が真菌感染症の世界でも大きな問題となっていることから、薬剤感受性試験の保険適応の拡大をお願いします。
- 2) ポリコナゾールは外来における抗真菌薬治療の中心となっていますが、血中濃度の個人が極めて大きく、TDM が必須です。現在外来での血中濃度測定が認められていないことから、不十分な治療の蔓延が危惧されます。外来診療における TDM が保険適応となるよう希望致します。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床細胞学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

N003-2

○ 名称

迅速細胞診

○ 理由

組織における迅速診断（術中迅速病理組織標本作製）は出来高算定となっているが、迅速細胞診は包括されている。通常の実務ルートとははずれるゆえ、どのように要望すべきか困っている。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本病理学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

N006

○ 名称

細胞診断料

○ 理由

D004 細胞診で、1. 婦人科材料等によるもの 2. 穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるものという区分があり、2. の場合は病理医が見て診断したものには N006 の細胞診断料が算定できるとされており、細胞診断料が請求できるが、1. の場合には、医師が見ても細胞診断料が算定できないとされており、明らかに不合理であり、矛盾している。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本病理学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

- 医科点数表区分番号
N006

- 名称
病理診断料

- 理由
病理診断料は病理医の診断に対する対価であり、ドクターフィーであると考えるが、組織診断料も細胞診断料も月 1 回しか算定できない。例えば、月初めに胃生検が提出され診断した場合には、組織診断料 450 点が請求できるが、月半ばに婦人科組織が提出され、まったく別に病理診断報告書を作成しても、組織診断料は 0 点、さらに月初めに行った胃生検に対する手術が同月内の月末に行われ、その手術検体に対して病理診断報告書を作成しても、病理診断料は 0 点である。明らかな不合理であり、改定すべきである。

2018年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床細胞学会
-------	----------

2020年度改定に向けての課題や2018年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- 2018年度診療報酬改定結果
不合理

- 医科点数表区分番号
N006-2

- 名称
細胞診断料

- 理由
婦人科系の細胞診標本を医師が鏡検した場合、細胞診断料が算定されず、婦人科の分野のみが細胞診断料の対象外となっている。

- 上記を踏まえ、2020年度の改定に向けて課題や、何かご意見
ある技術について、出来高算定へ移行する要望をあげるにはどのようにすればよろしいか、ご教授お願いしたいと思います。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本認知症学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

A247

B005-7-2

B005-7-3

○ 名称

認知症ケア加算

認知症療養指導料

認知症サポート指導料

[補足]

- ・ 初期集中支援チームのメンバー（専門医）
- ・ 認知症ケア加算 1 を算定する場合の医師
- ・ 認知症サポート指導料の算定
- ・ 認知症療養指導料のうち、「アドバイスを求めて認知症サポート医に患者を紹介した紹介元医療機関において算定する」「認知症サポート医が、新たに認知症の診断を受けた患者や、既に認知症の診断を受けた患者であって病状悪化や介護負担の増大等が生じたものに対して、認知症療養計画を作成した上で定期的な評価等を行った場合に算定する」とされている部分の算定

○ 理由

認知症サポート医であることを要件とする事項は日本認知症学会あるいは日本老年精神医学会専門医であれば担うことができるため、両学会の専門医であればサポート医と同様の要件を満たすことができるようにすべきと考えます。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本遺伝子診療学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
矛盾点

○ 医科点数表区分番号
D006-2
D006-4

○ 名称
造血器腫瘍遺伝子検査
遺伝学的検査

[補足]

BRACAnalysis 診断システムについて

○ 理由
明らかに遺伝学的検査であるにも関わらず，造血器腫瘍遺伝子検査である D006-2 区分に組み入れることには誤りがある。同時にこの診断システムを実施する際に遺伝カウンセリングが算定されないのも誤りである。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本遺伝カウンセリング学会
-------	---------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D006-2

D006-4

○ 名称

造血器腫瘍遺伝子検査

遺伝学的検査

[補足]

BRACAnalysis 診断システムについて

○ 理由

血液を検体として実施する遺伝学的検査であるのに造血器腫瘍遺伝子検査である D006-2 という概念を組み入れることは矛盾がある。またこの診断システムを実施する際の遺伝カウンセリングが算定されないのは矛盾がある。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

遺伝カウンセリングは B 医学管理として算定されるべきである。1-A 算定要件の拡大（適応疾患拡大。算定された遺伝学的検査の遺伝カウンセリングに拘らない）、2-A 点数の見直し（初診 1,500 点，再診 1,000 点とする）、1-C 算定要件の拡大（遺伝学的検査前と後に遺伝カウンセリングを行うことが望ましいため、遺伝学的検査前後に関わらず、実施回数分算定する）、3 項目設定の見直し（発症前遺伝学的検査に関わる遺伝カウンセリングは既存項目よりも高い評価とする。）

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床検査医学会
-------	-----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D011-1

D011-4

K920 注 8,6

○ 名称

免疫血液学的検査

○ 理由

同一医療行為（検査）であるが、検査として行う場合と、輸血の加算として行う場合で点数が異なっている。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

同一医療行為は、同一点数とする。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床検査専門医会
-------	------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

矛盾点

○ 医科点数表区分番号

D011-1

D011-4

K920 注 8,6

○ 名称

免疫血液学的検査,血液型と不規則抗体

○ 理由

同一医療行為（検査）であるが、検査として行う場合と、輸血の加算として行う場合で点数が異なっている。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

同一医療行為は、同一点数とする。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本臨床細胞学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

N000-2

N002-8

○ 名称

病理組織標本作製

セルブロック法によるもの、ならびに、セルブロック法における免疫染色

○ 理由

悪性中皮腫以外の疾患に適用拡大されたことは評価するが、肺悪性腫瘍において実施する場合、組織切片が実施困難な場合のみに限定された。組織標本に腫瘍が十分にあれば敢えてセルブロックで免疫染色を行う必要性はないが、組織切片には腫瘍が含まれない場合がある。また、異時性に腫瘍が発生した場合の取扱い、他臓器腫瘍との異同が問題になる際などにおいて、組織診断の縛りがあることは現実的でない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本神経学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 医科点数表区分番号

DPC

○ 名称

デュオドーパ配合経腸用液治療システムの DPC 対象病院における算定方法

○ 理由

平成 30 年 4 月から DPC 対象病院におけるデュオドーパ配合経腸用液治療システム使用時の算定が、薬剤投与用の胃瘻造設術を受ける患者については包括対象外となり出来高算定となった。そのため、薬剤投与用胃瘻造設術を受けない患者は包括対象となった。

包括対象となると診断群分類は既存薬剤を使用する入院と同じになる。本剤は既存の薬物療法に使用する薬剤と比較し高額であり、現状の DPC 包括評価と大きく乖離する。本治療システム使用患者の十分な DPC 包括評価が可能になるまでは、薬剤投与用胃瘻造設術を受ける患者としてではなく、高額薬剤として包括評価の対象外とする必要がある。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本心臓リハビリテーション学会
-------	-----------------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 名称

- ・在宅療法指導管理料
- ・多職種による心疾患再発入院・再発予防指導管理料
- ・心大血管疾患リハビリテーション料に関わる内容に個別的教育指導を含める

○ 理由

心不全、腎不全など慢性疾患が多くなり、患者自身の食事、服薬、運動など生活習慣の変容が不十分なために再入院する症例が増加している。患者自身にきちんとした教育を行うことが求められているが、教育自体にきちんと診療報酬が認められていないために、臨床現場での教育がおざなりになっているのが実態である。糖尿病性腎症にたいしては透析予防指導管理料がとれるが、心筋梗塞や狭心症、心不全患者などに対しては、そのような指導管理料が認められていないようである。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

心筋梗塞や狭心症、心不全患者に対しても指導料を設定するか、包括的心臓リハビリテーションの一環として、心大血管疾患リハビリテーション料に、教育に関しても（何回かの）20分1単位を認めていただけると、患者の生活習慣の変容を促進し、国民総医療費や循環器疾患医療費の大幅な削減につながるものと期待する。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本病態栄養学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 名称

入院時食事療養費・入院時生活療養費

○ 理由

厚労省調査による各医療機関による食事管理費の実態は赤字経営であるのに、消費税等が増額されているにもかかわらず入院時食事療養費・入院時生活療養費がまったく増額されておらず不合理である。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

厚労省調査による各医療機関による食事管理費の実態は赤字経営であるのに、消費税等が増額されているにもかかわらず入院時食事療養費・入院時生活療養費がまったく増額されておらず不合理である。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本小児神経学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 名称

オンライン診療

○ 理由

当院は、小児神経専門のクリニックで、全国から難病が来ます。そのために遠隔診療を導入しておりますが、診療報酬の対象が、30 分以内に当該クリニックに来院となっており、適応外で、電話再診を使った遠隔診療になりました。当院のような専門的な医療を僻地に届けける遠隔診療と、より簡易なスマホ医療を目指すオンライン診療は分けるべきと思います。先日もオンラインの会社と話したところ、精神科、小児科はオンライン診療が減っているそうです。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本血液学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ **2018 年度診療報酬改定結果**
不合理

○ **名称**
JAK2 遺伝子変異解析

○ **理由**
JAK2 遺伝子変異は骨髄増殖性腫瘍の WHO 分類診断基準の大項目に採用されており、実臨床では JAK2 遺伝子変異の解析は必須である。

○ **上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見**
実施しなければ診断や治療ができない重要かつ必須の検査項目が保険診療で認められていない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本血液学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 名称

化学療法、および生物活性製剤で治療するリンパ腫患者の治療前の B 型肝炎感染スクリーニング一括検査

○ 理由

化学療法、および生物活性製剤で治療するリンパ腫患者の治療前に B 型肝炎感染スクリーニングを行い、必要に応じて核酸アナログの投与や HBV 核酸定量の定期的モニタリングを行うことは実臨床では必須であり、もしこのような検査を行わず、B 型肝炎の再活性化が起こった場合には裁判で敗訴になる可能性が極めて高い。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

実施しなければ診断や治療ができない重要かつ必須の検査項目が保険診療で認められていない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本血液学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 名称

B 型肝炎既感染者の化学療法中および治療後の HBV 核酸定量の定期的モニタリング

○ 理由

化学療法、および生物活性製剤で治療するリンパ腫患者の治療前に B 型肝炎感染スクリーニングを行い、必要に応じて核酸アナログの投与や HBV 核酸定量の定期的モニタリングを行うことは実臨床では必須であり、もしこのような検査を行わず、B 型肝炎の再活性化が起こった場合には裁判で敗訴になる可能性が極めて高い。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

実施しなければ診断や治療ができない重要かつ必須の検査項目が保険診療で認められていない。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本呼吸器学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
矛盾点

○ 名称
既記載ハイフローセラピー

○ 理由
呼吸器学会と小児関連学会（周産期新生児、新生児育成、小児呼吸器学会）と同じ提案書であるにも関わらず、15 歳以下と 15 歳以上とで約 100 点の違い〔192 点（成人） vs 282 点（小児）〕があるのはなぜか？

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本在宅医学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 名称

小規模多機能施設にショートステイ中の患者へ訪問診療

○ 理由

小規模多機能施設にショートステイ中の患者への往診は、自宅に往診してから 30 日以内は訪問診療料を算定できるが、30 日以上の長期間にわたって小規模多機能にステイしている患者が多く、そのような場合、訪問診療料は算定できず、往診料あるいは再診料を算定する。訪問診療料を請求できるような制度に改めていただきたい。

○ 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見

上述に限らず、グループホームや特別養護老人ホームなど居住系施設、ショートステイへの訪問診療、訪問看護の導入にバリアが多く、施設看取りの大きな足枷になっている。抜本的見直しを要する。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本心臓病学会
-------	---------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果

不合理

○ 名称

集中治療管理料

○ 理由

集中治療室管理料の条件は循環器領域にとっては納得できるものではない。
急性心筋梗塞患者であっても集中治療管理料が算定できない場合がある。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本肥満学会
-------	--------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

- 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

- 名称
肥満症の生活習慣病管理指導料

- 理由
申請書提出したが、提出先（「管理指導料」の申請枠）が無いため保留状態である。

- 上記を踏まえ、2020 年度の改定に向けて課題や、何かご意見
「管理指導料」の申請を受付する窓口と仕組みの創設を強く希望する。

2018 年度診療報酬改定による不合理や矛盾点について

学 会 名	日本リウマチ学会
-------	----------

2020 年度改定に向けての課題や 2018 年度診療報酬改定によって明らかに不合理や矛盾点*と考えられるもの（単に要望が採用されなかった、診療報酬が低いなどは除く）。

*矛盾点：点数の設定について難易度が逆転している，不合理：左記以外

○ 2018 年度診療報酬改定結果
不合理

○ 名称
HLA 検査

○ 理由
強直性脊椎炎などでは、国家試験でも常識問題として HLA 検査が登場するのに、保険適用がないのはおかしい。

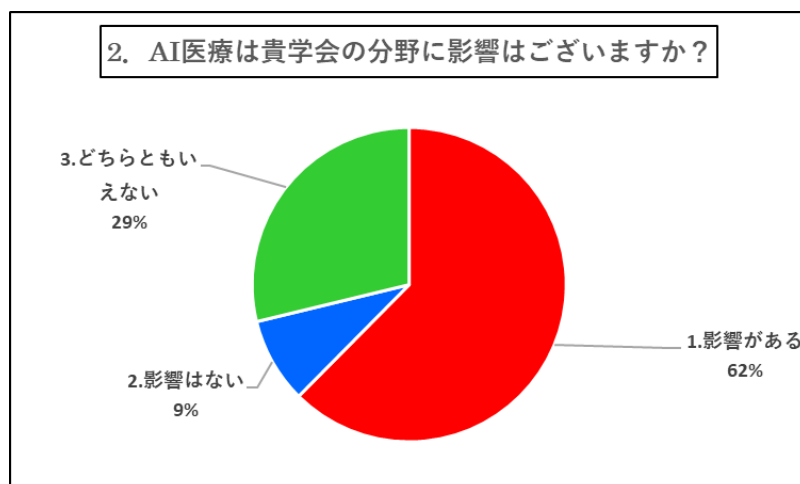
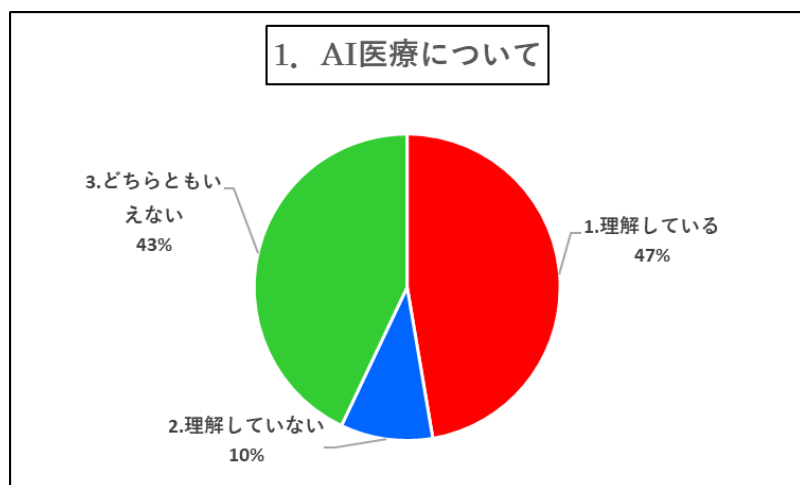
保健医療分野における AI 診断調査アンケート

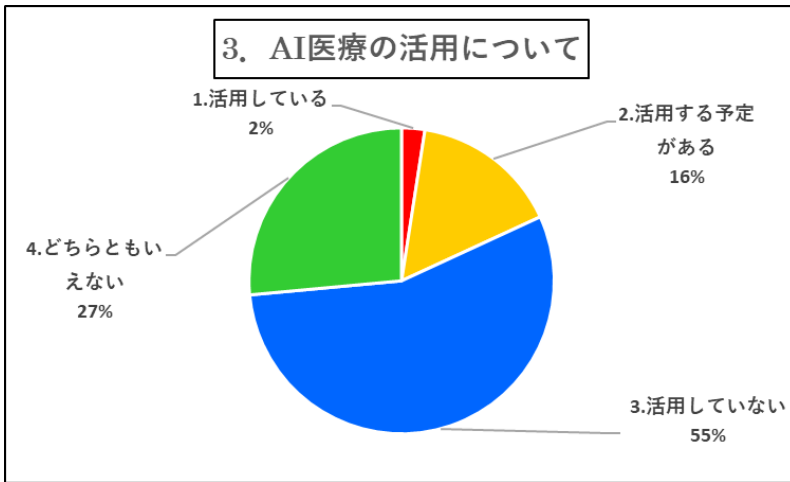
保健医療分野における AI 診断調査アンケート（回答者数：205 名）

AI 開発を進めるべき領域として「ゲノム医療」、「画像診断支援」、「診断・治療支援」、「医薬品開発」、「介護・認知症」、「手術支援」を重点領域に定め、必要な施策が厚労省により整理・検討されております。

2018 年 6 月 26 日の日本経済新聞朝刊に掲載されたように医師の診断では点数が取れず、AI 診断で点数が付き、AI 診断のミスは医師が責任を負うとされております。

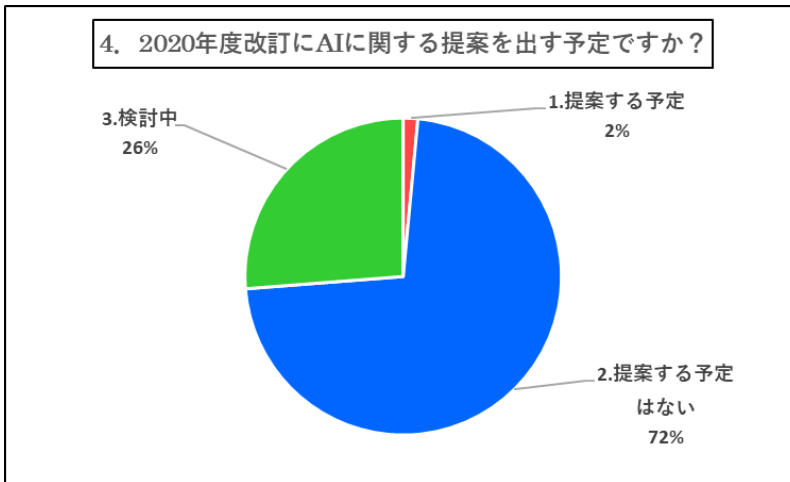
内保連では、これを重く受け止め、2020 年度改定に向けて AI による診断技術に関する調査アンケートを内保連加盟学会の担当委員を対象に実施し、これを基に AI 技術と医師の診断技術の診療報酬上の取り扱いについて、内保連の基本方針に盛り込む予定です。





【活用医療行為（活用予定含む）】～集計TOP5～

- ・内視鏡診断
- ・画像診断
- ・病理診断
- ・ゲノム医療
- ・超音波検査



【提案予定技術】

項目	区分番号	名称	理由
既記載	B009-2	電子的診療報酬評価料	臨床検査データの授受について、AIを用いた診断・診療に供する共通規格を用いる場合、加算対象に含める（通信による授受でなくても認める）。
既記載	D004-2, D006 他	悪性腫瘍組織検査	医学的に意義のある遺伝子のパネル検査において、AI診断の基盤となる、国の統合データベース事業に参画した場合加算を設定する。